

平成27年11月教育委員会定例会 会議録

平成27年(2015)11月24日(火)午後2時、出雲市教育委員会定例会を庁議室に招集した。

1. 会議に出席した委員

教 育 委 員 長	成 相 善 美
教育委員(委員長職務代理)	下 手 泰 子
教 育 委 員	本 田 惠 子
教 育 委 員	松 浦 剛 司
教 育 長	楨 野 信 幸

2. 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	杉 谷 学
教育部次長(教育政策課長)	赤 木 亮 一
学 校 教 育 課 長	安 井 孝 治
児 童 生 徒 支 援 課 長	竹 田 博 司
教 育 施 設 課 長	金 山 隆 司
学 校 給 食 課 長	木 代 伸 治
出 雲 科 学 館 館 長	渡 部 尚 美
学 校 教 育 課 主 査	松 浦 和 之
児童生徒支援課課長補佐	松 井 博 之

3. 会議の書記

教 育 政 策 課 主 査	和 田 貢
---------------	-------

4. 傍聴者

1 名

開会

（成相委員長）只今から、平成２７年１１月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議はお手元に配付しております日程のとおり行います。

１．出雲市教育委員会感謝状の贈呈

（成相委員長）それでは、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。赤木教育部次長に進行をお願いします。

（赤木次長）只今から、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。本日、感謝状を贈呈する方は、永田一芳様、西尾 真様でいらっしゃいます。贈呈の前に、ご功績につきまして、ご紹介申し上げます。

（ご功績の紹介）

それでは、成相教育委員長から感謝状を贈呈します。皆様、ご起立ください。委員長、前へお願いします。お名前をお呼びいたしますので、前の方へお進みください。

「永田一芳様。」

（成相委員長） （感謝状と記念品を贈呈）

（赤木次長）永田様、席へお戻りください。続きまして、「西尾 真様。」

（成相委員長） （感謝状と記念品を贈呈）

（赤木次長）西尾様、席へお戻りください。それではここで、お二方を代表して、永田一芳様からご挨拶をいただきます。永田様、よろしくをお願いします。

永田一芳様 ご挨拶

（赤木次長）永田様、ありがとうございます。以上をもちまして、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を終了します。どうぞ拍手でお送りください。

２．会議録の承認

（成相委員長）それでは会議録の承認に入ります。１０月定例会の会議録について、何か意見がありましたでしょうか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 特に意見等ありませんので、10月定例会の会議録については承認いたします。

3. 教育長行政報告

(成相委員長) 次に、行政報告について、榎野教育長に報告願います。

(榎野教育長) (以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

H27.10.28 学校訪問
H27.10.28 管内教育長会
H27.10.29 校長会役員懇談会
H27.10.29 まちづくり懇談会(四絡)
H27.10.30 市議会全員協議会
H27.10.30 新規採用教職員連絡協議会
H27.11.5 校長の会議
H27.11.5 学校医役員との懇談会
H27.11.6 市教育研究大会
H27.11.6 檜山小・東小再編統合推進委員会
H27.11.7 同和教育研究発表大会(上津)
H27.11.8 中国ブロックPTA 研究大会
H27.11.11 県校長会研究大会
H27.11.13 県東部教育懇話会
H27.11.15 まちづくり懇談会(杵築)
H27.11.17 中学生議会
H27.11.19 健康教育研究発表会
H27.11.20 中国地区教頭会研究大会
H27.11.22 青少年育成推進大会
H27.11.24 定例教育委員の会議
H27.11.24 人権作文・ポスター表彰式

(2) 今後の予定

H27.12.1 市議会初日 ~12.18
H27.12.3 市議会一般質問 ~12.8
H27.12.5 同和教育研究発表大会(鰯淵)
H27.12.10 市議会文教厚生常任委員会
H27.12.11 教育政策審議会

H27.12.15 市議会予算特別委員会 ～12.16

H27.12.17 校長の会議

H27.12.18 市議会最終日

H27.12.22 定例教育委員の会議

(3) 要望受理状況

H27.11.17

「学校図書館の充実に関する要望書」

学校図書館を考える会いずも

(成相委員長) 只今の教育長の行政報告について、質問等がありますか。

(各教育委員) なし。

4. 議事

(成相委員長) それでは、議事に入ります。最初に「議第40号 出雲市教育委員会感謝状贈呈者の決定について」を、教育部 赤木次長 に説明願います。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

(成相委員長) 只今の、議第40号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) なし。

(成相委員長) 特に質疑等がないようですので、議第40号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(成相委員長) ご異議ありませんので、議第40号については承認します。

(成相委員長) 次に、「議第41号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を、教育部 赤木次長 に説明願います。

(赤木次長) 資料に基づき説明。

（成相委員長） 只今の、議第４１号について、何か質疑等はありませんか。

（各教育委員） なし。

（成相委員長） 特に質疑等がないようですので、議第４１号について、承認してよろしいですか。

（各教育委員） 異議なし。

（成相委員長） ご異議ありませんので、議第４１号については承認します。

５．報告

（成相委員長） それでは報告事項に入ります。報告（１）－①「１２月定例市議会への提出案件について ①補正予算案件」を、教育施設課 金山課長 に説明願います。

（金山課長） 資料に基づき説明。

（成相委員長） 只今の、報告（１）について、何か質問等はありませんか。

（成相委員長） この設備というのは、その時の特別支援学級に入られる生徒さんの状態によってしていくものですか。

（金山課長） はい。幼稚園や保育所から小学校に新たに入られる場合は、そちらの方から情報が入ってきまして、児童生徒支援課の方でそういう情報をすべてキャッチして、保護者や先生方とかいろいろ相談されて、この子に適したことにはこういうのが必要だということを早い段階で協議しまして、この１２月の補正に間に合うようにしています。それで４月になるまでのところで整備をするために、１２月に補正させていただいているという流れです。

（成相委員長） その生徒さんは、例えば幼稚園から小学校に入る時に、１名とかということですか。

（金山課長） 今回で言いますと、国富とか灘分とか鰐淵、西野がありますので、年によっていろいろ変わってきます。それで特別支援学級に入って来られるけれど、特別に設備的なものは必要ないという方もいらっしゃいます。

（成相委員長） わかりました。他にありませんか。

(各教育委員) なし。

6. 協議

(成相委員長) 次に、「協議」に移ります。教育委員の皆さんが出席された行事や会議について、意見交換を行いたいと思います。感想やご提案があれば伺いたいと思います。まず、①学校訪問について、ご意見はありませんか。

(本田委員) 日程もゆったりとしたものでしたし、一日に4か所ぐらい回るというのは、早く次へ行かなくてはいけないという感じがなくて、ゆっくり見させていただいて良かったと思います。4か所ぐらいまでかなという気がしました。5か所になると、忙しい気がします。

(下手委員) あらかじめ校長先生のお話を伺ってから、ポイントを絞って見させていただくというのは今年初めてだったですけど、本当に良かったと思います。

(松浦委員) 初めて参加させていただいて、昨年より日程がゆったりとなったということで、私は比較対象がないのですが、逆にもう少し授業の内容をゆっくり見られてもいいなと思ったのが、最初の感想でした。

(成相委員長) 私は4年目ですけど、行くたびにその学校その学校の施設が、以前見ていたところと違うところが見られたりして、参加できる限りは見て回ってみると、ちょっとずつわかってくるなという感じがしました。一度行ったところをまた行ってみたら、一年一年でちょっとずつ視点が違ってきているなという感じがして、学校現場を見て回るということは、本当にいいことだと思いました。

(榎野教育長) いくつかポイントを絞って、共通のテーマで見てもいいと思いますし、それぞれの学校の課題というものを見てもいいと思います。それで、来年度はできたらそういうポイントを絞ってみるということと、もうちょっと日程にゆとりを持って、授業を時間をかけて見たいという気持ちもあって、できれば前半と後半、初夏と秋という形で、もうちょっとゆったりめで、じっくり視察できたらいいと思っていますが、今日いろいろとご意見をいただきましたので、また内部で検討して、来年度改善ができるのであればやっていきたいと思っています。

(成相委員長) 次に、②出雲市教育研究大会についてはいかがですか。

(松浦委員) これも初めてでしたが、非常におもしろかったといえますか、授業をああいうふうにひもといて説明をされる、それこそもう少し時間があつたら、この後どうなるんだろうという展開まで見られると、もっと深くこちらの勉強にもなったかなという

気がします。ただ、先生方がそういうふうに苦心、工夫をしていらっしゃるということが伝わったといえますか、いい経験になったと思っています。

（本田委員） 私も、おもしろかったです。もう少しその場において、授業を受けたかったです。本当に工夫した授業の内容、教え方でしたし、教案があつて、それまでの流れや今日の流れがわかって、授業も分かりやすかったです。その授業に至るまでに、授業を公開なさっている先生のみならず、校長先生をはじめいろいろな方が授業研究、教材研究に関わっておられるということを伺って、皆さんで勉強なさっているということに感銘を受けました。

（下手委員） 授業は確かに、この後どうなるのかなという感じで、ちょっと後ろの方を見ていたら、わかっていないこの子には、これからどういうふうに先生がもっていられるのかなとか、興味深いところもあつて教室を去りがたかったんですけど、次があつて行かせていただきましたが、それで最後の学校で先生方がディスカッションしていらっしゃるのが大変熱を帯びていて、熱心に意見を交換していらっしゃる姿も大変頼もしく思えました。子どもたち、中学生も本当に熱心に授業を受けている姿を見られて、出雲市の子どもたちっていいなとも思いながら、拝見させていただきました。

（成相委員長） 私の行った学校は、水の屈折のことをやっていました。それも松浦委員さんが言われたように、先生がどういうふうに結論を出すのか非常に楽しみだったし、それから甲子園へ常連で行く野球の強いところの、レギュラーになれる子となれない子がいて、その子たちのいろいろな心理状態について子どもたちと話しておられて、私もスポーツをやっていたので、レギュラーになれる子たちを集めて二つの学校が大会をしたりして、その子たちの思い出になるようなことをしているというような話があつて、子どもたちのいろいろな意見を最後まで聞けなかったんですけど、それももうちょっとどういうふうな意見が出てくるのかというところで時間が無くなったので残念でしたが、でもあのような話をしているということが良かったなと、そういったところを見させてもらって本当に良かったなと思いました。

（榎野教育長） 市教研の会長に後から、非常にいい取組なので毎年やられたらどうかと言っておきましたが、それはとても難しいと言っておられました。一番感じたのは、先ほど何人かおっしゃいましたが、あまりぐるぐる回らずに、一つをじっくりと最初から最後まで見たかったと、市教研の会長にも言いましたけど、それぞれの学校が一生懸命取り組んでいますから、それぞれに出かけて行って見てあげるとするのは大事だと思います。しかし、個人的に言うとも最初から最後までしっかりと同じものを、同じところに留まって見せてもらいたかったという思いで、こちら側でのもう少し上手なやり方はないのかなと思います。

（成相委員長） 教育委員で1、2、3年と分けて、時間が終わるまで見るとか、後からまた話をしたりですね。

（榎野教育長）断片的にはわかるんですけど、それでいいのかどうかということですね。じっくり見たいというのが、率直な感想です。

（成相委員長）ありがとうございます。次に、③東部地区教育懇話会についてはいかがですか。

（本田委員）まず、2度ぐらい日程調整されたと思いますが、それにしても出席者が少なくなかったですか。何回も日程調整された割には、ご都合つかない方が多かったのか、そうするともう少し早く日程調整されないといけないのかなとか思いました。去年松江であった時は、1.5倍ぐらいおられたような印象があります。でも、一つテーマを決めて、勉強させていただいて、すごく良かったです。

（下手委員）あのテーマは、誰が決められたのでしょうか。

（榎野教育長）県の方で。

（下手委員）それは特に今、力を入れておられるとか、成果が今どうだとかありますか。

（榎野教育長）県として、力を入れていますね。出雲市も今年度特に、地方創生がらみで、より力を入れ始めていますので、タイムリーというか、テーマ的には良かったと思います。

（本田委員）去年はキャリア教育でしたね。今年はふるさと教育で。

（成相委員長）私が良かったと思ったのは、四絡地区にいて、自治会に加入者がなかなか入らなくなってきた、例えば、四絡地区はドームで地区の運動会をやるんですけど、人はいっぱいいるのに選手はなかなか集まらないということがありますが、雲南の海潮中校区は、中学生も小学生もみんなと一緒に地区の体育祭に参加していると、あれを聞いて大変うらやましくなりました。体協の人たちは一生懸命選手集めをやって、人がいても参加しない。海潮中校区の小中学校は学校行事の一つになって一緒にやっていると。そうすると四絡でもそうですが、子どもがひとりマラソンに出るとか、渡橋から出るとかすると、あれはどこの子かいねというようになって、みんなが、お年寄りさんが元気になるんですね。そういった話をたまたま南中学校の成相前校長先生と話すことがあって、あそこは地区の子がみんな参加していると。そういう形が取れると、本当にこの地区が盛り上がっていくのになと思って、大規模校になるとなかなか難しいのかなと思いながら、何とかそうやって一緒にできないかなと思います。そうするといろいろなことが、うまく動いていくのになと思いながら、先日の話を聞いていました。非常にうらやましいというか、何とかならないかなという思いで聞いていました。

（槇野教育長） 地域学校運営理事会を出雲市でやっていますが、流力的にはそれをもっともっと拡充していこうということが言われていまして、地域学校支援本部という制度があって、出雲市はそれをやめてブロック単位のブロック運営協議会でやっていますが、その地域学校支援本部というのが、支援ではなくてこれから協働本部という、要は連携を強化して、双方向の活動にしていきたいと思いますという動きになってきています。そうすると今後は、地域が学校に対して支援するだけではなくて、学校の方からも地域に対していろいろな意味で貢献するというようなことが大事になってくると思います。そうなれば、今委員長がおっしゃったように、地域の運動会の役員を中学生がするとか、もちろん競技にも出るというようなことになるのかなと思って聞いていました。それぞれの地区で実情が違いますので、一概には言えないかもしれませんが、そういう動きになれば、多少なりともいい形になっていくかなと、少し期待はしているところです。

（下手委員） 高校生とかその親御さんにも、ふるさと教育をしていかないといけないところ、確かにそうだなと思って、そこまでいかないと、なかなかふるさと教育というのは完結していかないのかなというように思いながら聞きました。

（槇野教育長） 県のプランが、大人までを対象にしてという話だったです。良かったと思いますが、毎回思うんですけれど、東部地区教育懇話会という名称でやっている主旨がよくわからなくて、勉強会と言えば勉強会ですが、東部と西部と隠岐、そのくくりがまず中途半端なのと、規模も中途半端なんですよ。やるならもっとこじんまりと、みんながどんどん意見交換できるような規模でやるとか、あるいは大人数にして一方的に事例を紹介するとか、毎年、中途半端な会だなと思います。

（成相委員長） 他にはありませんか。

（各教育委員） なし。

（成相委員長） では次に、④中学生議会についてはいかがですか。先ほど教育長は、こちら側がしゃべるのが多くて、子どもたちにもっと時間があってもいいのではないかとこの話でしたが。

（下手委員） もうちょっと何か訊きたいのかなというところが感じられましたけれど、彼らは時間を気にしているので。

（松浦委員） あの文章は、やっぱり中学生用ですか。それとも大人の通常の議会の形の文章になっているんですか。何か、生徒たちがちょっとわかっているのかなというような感じがしました。私が答弁したのは通学路の話なので、わりと分かりやすいと思うんですけれど、内容によっては、本当に理解しているのかなという思いがあるのと、もう少し分かりやすい言葉で分かりやすく短く、簡単な説明でもう少しやり取りができる方が、いいのかなと感じました。

（成相委員長）片方が、大人でしょう。生徒たちが、質問しにくいですね。専門的な言葉とか、データのこともみんな揃っているの、生徒たちが訊きたいことはちょっと違って、それ以外のこともポンと答えられるから、次の質問が出しにくいのではないかなと思います。もっと単純に、聞いてきたことに対してそのまま答えてあげると、それだったらとまた訊いてくれるようなことになる、おもしろいかなと思います。こちらが大人だから、何でも訊いていいよという感じで答えは簡単にしてあげたら、向こうはじゃあこんなところも訊いて見ようみたいなことが出てこないかなと思います。何か完全包囲網みたいな感じで、もうこれだけ言ってあれば大丈夫だろうみたいなのでやると、生徒は自分の聞かなくてもいいことまで聞いてしまって、逆に質問しにくいことになると思います。

（槇野教育長）やはり普段から、隙の無いような状態で答弁しますからね。でもやっぱり言われたとおりだと思いますけれど、少しボヤーとした答えない部分があつて、また次の質問がしやすくなるという配慮は大事かなと思いますね。全部答えてしまって、もう何も訊くことがありませんという状態にしてしまつてはいけないと思いますね。

（松浦委員）学校が、あの質問を考えるのも自由ですか。

（槇野教育長）そうですね。ただ、あまり重複するようであれば調整しますということで、二つぐらいありました。

（松浦委員）プロセスとしては、あの調査、研究の期間が学校で取られるんですか。

（安井課長）そうです。説明会を8月に、研修会という形でしています。その前段に、市の未来図の中でこういう事業をやっているということで、希望を取ってそのブースみたいなものを設けて市の職員から実際に話を聞いて、その中で取り上げたいもの考えるということです。3人ぐらい来ますが、その3人がいくらかずつテーマを出して、それをまた学校で話をしています。生徒会活動みたいなのところなどで、やっているようです。

（松浦委員）終わって、一応答えを持って帰りますよね。その後、どうなりますか。例えば向陽中学校の場合は、アクションに起こせるような話でしたよね。起こせないものもあると思いますが、質問の内容についての結果から、何か例えば中学生から提言が出るとか、そこまではいかないですか。

（安井課長）今回の中で、施策反映ができるものはピックアップしようかと思っています。

（槇野教育長）学校側で、帰って取り組んでもらいたいものもあるし、行政が課題とし

て受け止めて対応していかなければいけないものがあります。

（松浦委員） その学校へ持って帰ったものをどうされるかは、学校の自由ですか。

（槇野教育長） そうですね。それでたまたま覚えているものぐらいしか言えませんが、行政が受けた中で言いますと、この前質問で出た一文橋は、直したんですよ。轍ができて危ないということで改修したり、それから中学生の職場体験の時のやり方で、少し改善を加えたのもあります。ですから中学生議会で出たことが、市の施策の中で反映できたものもありますし、一方で学校で取り組んでもらいたいこともありますので、それをできるだけ、やって良かったとかやった成果としてお互いが残るような形にもっていったらいいなということと、市長の話にもありましたが、主権者教育という点から言っても、これからは放映されたものをそれぞれの学校で、多くの子どもたちが見たりしながら、また意見を出し合うということができたならさらにいいですけど、せめて見るぐらいはしてほしいですね。

（松浦委員） 見なかったら、報告する時間でもあればいいんですけど、なかったら何の意味もない。

（槇野教育長） あの生徒たちは相当な時間を使ってあの場に立っていますし、当然学校の教員もかなり事前に、当日を含めていろいろなことで手間がかかっていますので、それを有効にするためには、もっともっと広く知らせるといえるか、そのところをやっているかなくてはと思います。

（松浦委員） あの模擬体験だけではあまり意味がないとか、そこにプロセスがあって、どうするかということが多分一番大事なポイントだと思います。

（成相委員長） 自分たちで学校へ持ち帰って、いろいろそのことについてまた勉強して、何か努力していくとか、こういうふうにしたらこうなってきたというようなものが見えてくるとおもしろいですよね。来年は、こんな質問しようとかですね。

（槇野教育長） だから答弁は、2枚以内。それでまた何か聞き返したくなるような感じの答弁にしておいた方が、やり取りができてよりいいかなと思いますね。

（本田委員） 次に再質問する生徒さんが、しっかりメモを取りながら聞いておられて、普通大人でもなかなか次に再質問する時にとっさには出ないのに、あそこで一生懸命考えてすぐ再質問される中学生さんが多くて、立派だと思いました。一中の中学生さん、大きなパネルを持って来られたけど、見せられたのは一瞬だけで、あれを置く台とかなかったですか。

（槇野教育長） 議場ですからね。

（本田委員） 国会では見たことありますけど、自分のところで準備すれば、オッケーですか。

（槇野教育長） それと、持ち込むという届をして持ち込まないと、議長の許可なく勝手に持って入ると怒られます。

（本田委員） この前は、どうだったんですか。

（安井課長） A 3 ぐらいのフリップの持ち込みの許可は事前に受けていまして、それが来るように学校と担当と話をしていましたが、どうも何かの手違いでああいうのが来てしまって、フリップじゃないけどどうするかということで、最終的にあの場で柱みたいなものを入れてやりましたが、本当はちょっと届出外のものでした。

（本田委員） そうだったんですか。すごく一生懸命作って来られたのじゃないかなと思って、もう少し長らく見てもらおうと良かったような。

（槇野教育長） やはり決まったルールの中で運営していくものだということを学ぶということも大事ですから、何でもかんでも中学生だから、こんな大きなものを作って持って来ましたでは通用しません、というのも勉強だと思います。

（本田委員） 届出が必要だというのは、私も知らなかったです。

（成相委員長） おもしろかったですよね。でもあの時、教育長が、基本的には自己負担と言われたのは、本当に良かったと思います。補助金目当てでやっているわけではないので、補助金は、がんばっているから少し負担してあげますよという意味合いのもので、それが最初から補助金目当てで、子どもたちがそのように思って、何でももらえるものはもらおうというようになるのはよろしくないと思いましたが、あのようにはっきり言われたので良かったなと思いました。

給食のことは、違う質問が来ると思ったので、期待していたんですけど自分で答えられない質問が来たので、部長にお世話になりました。給食センターにも電話して数字とか全部調べていたので、答えられるかなと思っていたんですけど、想定していたのと全然違って、答えられませんでした。でも、おもしろかったです。子どもたちにも、いい勉強になったと思います。

先ほど松浦委員が言われたように、中学生議会に出て、質問したら結果的に返事をもらって帰ったけど、自分たちで努力したらこうなりましたとか、来年はもうちょっと違う質問をしてみて、もっと自分たちの思っていることを発表してみようとか、そういうようになるといいですね。

（槇野教育長） 後へつながっていくような取組で、質問して終わって良かった良かった

ではなくて、つながっていくようなものでないといけないと思いますね。

（成相委員長） 中学生議会については、他にありませんか。

（各教育委員） なし。

（成相委員長） では、その他の事業や会議について、何かありませんか。

（成相委員長） 10月、11月といろいろ出させてもらったんですけど、同和教育で上津小学校にも行きました。これは、授業を見させてもらいましたが、良かったですね。出られる限りは出た方がいいと思って、話を聞いていました。それから斐川西中学校では健康教育の発表会があつて、3年生はエイズについて先生が話をされて、子どもたちにああいうふうに話していくんだなと思って、子どもだとばかり思っていたんですけど、ちゃんとしっかり聞いていて、こちらが勉強になりました。

（榎野教育長） あれも、いいところで次のクラスに移動させられて、全部そうですよね。

（成相委員長） そうでしたね。あと結論がこれからという時に、次へどうぞということで。

（榎野教育長） 内容は、良かったですよ。もっとじっくり見たいと思っていると、次のクラスへと案内されるものですから。

（成相委員長） 話は変わりますが、今頃学校の統合が、いっぱいありますよね。これから先、統合されて学校が新しくなった時に、例えばLEDだったら何年ももちますけど、そういったものが次の学校に活かせるとか、ここのパーツは次の学校で使えるとか、いろいろなものが結構長持ちする物が多いですよ。そういう長持ちする物が、次の学校に活かせることはないのかなと思います。新しいものが安上がりということもあるかもしれないですけど、教材にしてもなんでもそうですけど、活かせるものが活かせる方がいいと思いますが、そういうのは難しいですか。

（榎野教育長） 基本的に、備品類は統合先へ持っていくものもありますし、それ以外の学校から希望があつてそちらへ移すとかいうことはやっていますし、最近ではエアコンを移設して、他の学校へ付けたということもやっています。

（成相委員長） そういうことは、されているわけですね。

（榎野教育長） そうですね。使える物は、有効活用するという考え方でやっています。

（成相委員長） 建物的には、無理ですよ。

（金山課長） ちょっと難しいといえますか、だいたい古くなったものが多いので、移設して使える物があっても、手間の方が余計にお金がかかって価値が無かったり、結局新しいものが長持ちするということがありますので、そこはきちんと考えてしないと、何でもかんでも持って行って結局失敗してもいけないということもありますので、じっくり考えて必要なことであればやっていくということだと思います。

（成相委員長） 日本の場合は新しいものがどんどん入るし、ヨーロッパの方へ行ったら、学校は100年以上何百年と使い続けられたり、アパートにしてもマンションにしても古いものほど価値があるというような感じで、耐震性とかはわかりませんが、そういうこともあって何か活かせるものがあってもおもしろいなと思いました。

（松浦委員） 以前ピアノは、猪目分校がなくなる時に、教育委員会から問い合わせがあって、あそこのピアノとここのピアノとどちらがいいですかということがあって、結構節約していらっしゃるなど、それで調べたらどこそこの小学校のが古いから、猪目分校のを移動して使われた方がいいじゃないですかというお話をしました。結構シビアにやっていたらっしゃるなと思いました。それでもなお使える物は、コミセンとか学校以外にも行きますよね。

（榎野教育長） そうですね。せっかくですからね。使っていただけたところがあれば。

（成相委員長） その楽器などは、その当時の学校の生徒さんがいっぱいおられる時なので、結構いいものが入っているんじゃないですか。

（松浦委員） でも、古いですからね。

（成相委員長） 他は、いいですか。

7. その他

（成相委員長） 次に、「その他」に入ります。 教育委員会の後援・共催事業について、教育部 赤木次長 に説明をお願いします。

（赤木次長） 資料に基づき説明。

（成相委員長） 只今の報告について、質問等はありませんか。

（各教育委員） なし。

（成相委員長） その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

（各教育委員） なし。

８． 次期教育委員会の開催時期

（成相委員長） 次期教育委員会の日程ですが、１２月２２日（火）午後２時から会場は庁議室で開催いたします。それでは、以上をもちまして、教育委員会１１月定例会を閉会します。

（15:01）定例教育委員会閉会